

牧田川船附築堤護岸だより

2月号



元旦からの暖かい日が一変し、1月中旬から下旬にかけてとても冷え込む日が続きました。時には降雪を伴う冷え込みにより本来の冬の姿を感じる事が出来た1月ではありました。最近風邪やインフルエンザが流行してきています。外出後の手洗いうがいは欠かさず行って下さい。我々も体調管理を万全にして工事進捗に努めて行きます。さて2月に入れば春の兆しが見えてくる時期になり、節分を過ぎると雪が降る事も少なくなってきます。我々現場を管理する者にとっては雪と雨は、作業工程を遅らせる最大の原因でもあるので日々の天候に気をかけながら、今月も頑張ってお施工していきます。

現在までの進捗状況と2月の施工予定

1月は上段の護岸基礎の据付を行い、法枠の施工とコンクリート張の施工を行っています。2月は低水箇所への施工に取り掛かって行きます。低水箇所の掘削を行い、護岸基礎の据付を行い法枠の施工へとシフトして行きます。また、2月からは堤防天端道路を規制して舗装版の撤去やガードレールの施工も行っています。近隣住民の皆様には、交通規制等で大変ご迷惑をお掛けしておりますが、どうか宜しくお願い致します。

建設ICTによる情報化施工技術の活用

この船附築堤護岸工事では、建設ICTによる情報化施工技術の活用を行っています。今回の施工では、TS出来形管理システムを使用して、盛土の施工による出来形の計測を行っています。このシステムは自動追尾が可能なトータルステーション（光波計）を基地点に設置し、データコレクタを持ちながら出来形測定を行う事が出来ます。普段なら出来形を測定するのに2人から3人の人が必要であるのに対して、1人で出来形計測が行える事で、作業現場での人件費の削減や時間の短縮といったメリットがあります。実際に現場では、とても使いやすく便利なシステムです。

※調査・設計・施工・維持管理・修繕の一連の建設生産システムにおいて、効率化・高度化による生産性向上に寄与する情報通信技術を「建設ICT」といいます。

実際の出来形計測状況とデータコレクタのモニター



牧田川の堤防強化と日横曽根橋の橋台撤去工事を行っています
平成27年度 牧田川船附築堤護岸工事

進捗率 49% (1月末) (1月変更契約により工期変更)

1月の作業風景(法覆護岸工)
均しコンクリート打設状況 法枠据付状況 法枠据付完了

国土交通省 中部地方整備局 木曾川上流河川事務所 牧田川出張所 TEL.0584-35-2078

株式会社 相岡組 現場代理人 中島 佑太 監理技術者 林 一夫 TEL.0584-27-3140

近隣地域の皆様には、大変ご迷惑をお掛けしております。安全に作業致しますので、どうか宜しくお願い致します。



平面図から見る工事の進捗状況

